

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

76

平成30年
7月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

診療・介護報酬の同時改定を受けて

今回は6年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定であり、団塊の世代が全て75歳以上の高齢者となる2025年に向けた道筋を示す実質的に最後の同時改定となるため、医療・介護両分野にとって節目となる改定となりました。医療機能の分化・強化、連携や、医療と介護の役割分担と切れ目のない連携を着実に進めることが重要であることは言うまでもありません。

当院は広島西部エリアに位置し、脳神経外科領域を全てカバーできる唯一の医療機関であるため、これまで医療機能の分化・強化、連携を図ってきました。特に、脳卒中をはじめとする脳血管疾患の専門病院として超急性期・急性期から回復期リハビリテーションまで、ひとつの医療機関で治療を完結できる質の高く安全な医療を提供しております。

また、西区には公的病院や地域医療支援病院がなく、民間の12病院が病院群を形成し連携強化のもと、広島市西区医師会が運営する「西区在宅あんしん病院」の存在で地域医療を支えています。当院は拠点病院として、西区医師会による地域包括ケアシステムの構築にも一役を担わせていただいております。

さて、本改定では、急性期医療において、入院患者数に対して看護師配置が多ければ高い医療機能を持つものだという評価から、急性期治療を必要とする患者割合によってその機能が評価される仕組みに変更されました。回復期では、リハビリテーションによる回復度合いが数値化され、その数値が大幅に上がり診療のアウトカムが強く評価される仕組みに変更されています。

これらは、当院の進むべき方向性の中に既に含まれている内容であり、特段の対応はいたしません。我々は患者中心の医療を安全と質を維持しながら提供することだけに注力しております。

今後は、さらなる人口減少・少子高齢化が進み、国民皆保険を堅持するために消費税率の引上げによる財源確保や、国民各層の給付や負担の両面の見直しも行われる中、我々医療機関への医療資源の配分もさらに厳格化され、厳しい環境にさらされることは間違いないでしょう。

しかしながら、我々は、これから医療技術の進歩も踏まえ、医療現場の人材確保や働き方改革の推進をおこないながら、イノベーションを通じてさらなる成長を求めチャレンジしてゆきたいと考えております。

今後もより一層、地域とともに歩み、安全で質の高い医療の提供のため職員一同、邁進してまいりたいと思います。

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院
理事長 荒木 攻

もくじ

- ① 診療・介護報酬の同時改定を受けて
- ② 平成30年度入職式 / 新入職員研修会
- ③ 新入職員歓迎会 / 職員親睦行事 カーブ観戦
- ④ 日本医師事務作業補助研究会 第8回全国大会開催のお知らせ
私の趣味自慢 ~ダム巡り~
- ⑤ 連携医療機関のご紹介 —— こうの脳神経外科クリニック ——

平成30年度 入職式

平成30年4月2日（月）、当院5階研修室で入職式を執り行いました。

新卒者23名、中途採用者10名、計33名が期待と不安を胸に抱き、医療人として第一歩を踏み出しております。

部署別採用人数は、看護部8名（看護師6名、准看護師1名、臨床工学士1名）、リハビリテーション部19名（理学療法士10名、作業療法士6名、言語聴覚士3名）、地域連携推進部1名（社会福祉士1名）、事務部4名、関連事業部あんしんホーム1名（看護師1名）となります。

入職式では、荒木 攻理事長より、「患者中心の医療を提供するため、奉仕の精神でチーム医療に当たって欲しい」と激励がありました。続いて、採用辞令と徽章が職員ひとり一人に交付され、医療法人光臨会の一員になったことを実感されたことだと思います。

新入職員を代表し、リハビリテーション部の香川 茜さんより、「努力を惜しまず仲間と協力しながら、成長していきます」と誓いの辞があり、今年度の入職式を終了いたしました。

総務部長 山根 圭太郎



入職式の様子



徽章授与式

新入職員研修会

4月3日（火）からの2日間の日程で、ホテル広島サンプラザで新入職員研修会を行いました。この研修会では、法人の理念および病院の運営方針等を伝えると共に、病院と関連事業部の運営について理解を深めてもらう目的で座学形式にて毎年開催しております。

研修会初日、荒木勇人院長の「病院の紹介」と題した講義からはじまり、2日間で13名の講師による部署紹介、活動内容についての講義が行われました。

また、最終日には、総務部より就業規則をはじめとする社内規則についての説明も行われました。各講義のあとには、新入職員から質問を受ける場面もあり、有意義な研修会になったと思います。全体研修以降、それぞれの部署での研修が始まり、患者様に接していくことになります。

総務部長 山根 圭太郎



研修会の風景

新入職員歓迎会

新入職員研修会終了後、研修会会場となったホテル広島サンプラザの3階大広間で法人職員総勢約200名が参加し、新入職員歓迎会が福利厚生委員会主催で盛大に開催されました。

歓迎会では、新入職員の自己紹介の写真・スライドを公開すると共に一人ずつ壇上に上がり、自己PRをしてもらいました。また、会の後半では、恒例となっている各部署の代表による部署紹介を行ない、新入職員を歓迎するとともに、各部署間・職員間の親睦を深めました。

総務部長 山根 圭太郎



集合写真

職員親睦行事 カープ観戦

平成30年5月1日マツダスタジアムで、新入職員をはじめとする職員140名で、職員間の親睦を図る福利厚生活動として、2位巨人と広島東洋カープの首位攻防戦を観戦しました。観戦は広島パルコパーティベランダにて、出来たての料理を楽しめるキッチンビュッフェで、バイキング形式の料理を楽しみながら観戦することができました。

試合開始からスタジアムを訪れた職員は、2回表までの3失点で「中村 裕太君、℃℃℃（ドドドオー!!!）したんだ？」と思っていたことでしょう？しかし、広島は2点ビハインドで迎えた3回裏、バティスタと鈴木誠也の2者連続本塁打などで3点を挙げ、逆転に成功！！今年も逆転のカープを印象づける試合内容でした。

新入職員にとっては、初めての福利厚生行事でしたが、ハラハラとした試合展開にも職員一丸となり応援したことで、部署の垣根を越えた多くの職員と親睦を図れたことだと思います。チーム医療を進める上では横のつながりが大切ですので、これからも福利厚生行事を通じて職員間の連携を深めていきたいと思います。

最後に、福利厚生委員の皆様、お疲れ様でした!!

楽しい時間をありがとうございました!!

診療部門長 渋川 正顕



職員一丸となり応援



カープリードで最高潮

日本医師事務作業補助研究会 第8回全国大会開催のお知らせ

NPO法人日本医師事務作業補助研究会 第8回全国大会を平成30年9月15日(土)、広島県広島市東区にあります、広島コンベンションホールにて開催させていただく運びとなりました。

大会テーマは、「患者中心の医療を目指して～医師事務作業補助者の成長と発展～」といたしました。医師事務作業補助者の業務は、医師を中心とした臨床現場をマネジメントしチーム医療の一員としての位置づけが確立してきた中、更なる役割として「医療の質の向上」と「患者サービス」へ繋がる医師事務作業補助者へ発展し、医師事務作業補助者の職種の成長と私たち医師事務作業補助者自身の成長、教育体制の構築が課題となります。私たち医師事務作業補助者が更なる発展を目指し成長するための有用な機会にしたいと考えております。より多くの医師事務作業補助者のご参加お待ちしております。

医療秘書課 増成 倫子



大会テーマ



大会長・増成 倫子

私の趣味自慢～ダム巡り～

職員の趣味を紹介し、親しみを感じていただくコーナーです。

初回は、副院長 江本 克也先生の趣味を自慢してもらいます。

ひょんなことから始めた一人ドライブでのダム巡り。晴天の大自然の中に忽然と現れる巨大人工建造物、二つとして同じものないその立ち姿、湖水の静寂、それを彩る木々の緑、個性溢れるダムカード、初めて走る道、その道沿いの景色、夜には決してハンドルが握れない離合不可能な薄暗い林道、クマが出そうな堤体下への道、そのほとりを流れる清流、暑い中、それを完遂して飲むときの冷たいジュースのおいしさ。ダム巡りにはいろんな魅力が詰まっています。お金もかからず、誰にも気兼ねがいらない趣味です。名の知れたスターダムもあれば地味なダムもあります。いろんなダムがそれぞれの役目を寡黙に果たしています。それもまたおもしろく、魅力的です。これからの時期に森林浴を兼ねたダム巡りはいかがでしょうか。新鮮な空気と大自然に触れることで、気持ちをリフレッシュできると思います。

自慢げに話していたら同僚の先生が隣で一言。「そんな、屁の役にも立たんことして。」と笑われました。それが、私の趣味です。気軽に声かけ下さい。

副院長 江本 克也



副院長 江本克也



ダムカード：

ダムの管理棟でもらえます。

カードがあるダムとないダムがあります。
現地に行かなければもらえません。

右上アルファベット

→ダムの用途符号

右下アルファベット

→ダムの建築形式



連携医療機関のご紹介

こうの脳神経外科クリニック

住 所：〒730-0005 広島市中区西白島町16-17

T E L：082-502-0036

F A X：082-502-0665

診療科目：脳神経外科・心療内科・精神科

院長名：河野宏明

副院長名：河野恵理

病院URL <https://www.kouno-nsc.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00～13:00	●	●	●	●	●	●	—
15:00～18:00	●	●	●	—	●	●	—



院長 河野 宏明先生

平成12年5月、中区西白島町に開院し、お陰さまで19年目を迎えることが出来ました。開院以来、脳神経・精神疾患などを対象として、院長である私が脳神経外科を担当し、副院長が心療内科・精神科を担当しております。

白島・基町地区は高齢者世帯も多く、脳血管障害の救急を要する患者様も日常的によく見られ、また、周囲に学校も多く、事故や外傷の方も多く見られます。開院当初より、脳神経外科関連の救急患者様を、荒木脳神経外科病院にいつも快くお引き受け頂き、感謝申し上げております。お元気に回復された患者様が、当院を訪れて大変喜ばれているのを見るに付け、我々も胸をなで下ろしている次第です。私自身も大学病院に勤務していた頃に、荒木脳神経外科病院に当直医として大変お世話になりました。救急の大変さはよく存じ上げており、貴病院の理事長先生以下スタッフの皆様方の大変なご努力の賜であると思います。

当院ではMRI、CTを用いた、脳神経外科的疾患の診察や治療の他に、デイケアを併設し、主に軽度認知症候群の方や高次脳機能障害の方、さらには精神分析、各種心理検査、認知行動療法、STT（社会技能訓練）等を通じて、うつ病や適応障害の方の治療を行っています。

我々の施設の特殊性を活かして、一人一人に寄り添った、きめ細やかな医療の実践を目標とし、今後も地域医療に邁進して行く所存で御座いますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



医療法人光臨会 理念

- 皆様に安心していただける、全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

- 「医療の原点は救急である」
- 快適な療養環境と接遇の提供
- チーム医療の推進と相互啓発
- 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います

- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
- 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
- 医療に関して知る権利を尊重します
- 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
- 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
- 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
- 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

- 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表

平成29年10月1日～

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診)	渋川	中原	沖	江本	荒木(勇)	広大
		初再診(2診)	荒木(勇)	谷	江本	沖	渋川	谷
		初再診(3診)	沖	太田	加納		加納	
	午後	初再診	谷	加納 (1・3・5週) 沖 (2・4週)	広大	加納	沖	広大 江本

脳神経内科	午前	初再診(3診)			青木			
-------	----	---------	--	--	----	--	--	--

総合診療 (内科・外科)	午前	初再診(4診)	野村	浅本	藤井	浅本	藤井	野村
	午後	初再診(4診)	藤井	浅本	野村	浅本	野村	野村
	午前	検査		浅本		野村 浅本		
	午後	検査		浅本	野村	浅本		

脳神経外科 消化器内科	午前	初再診(5診)		荒木理事長				井上
----------------	----	---------	--	-------	--	--	--	----

診察時間

◆完全予約制

午前 9時～12時
(初診受付：午前 11時30分迄)
午後 3時～6時
(初診受付：午後 5時30分迄)

救急は 24 時間受付けております

※井上名誉教授
第1土曜日 月1回

医療法人光臨会



荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

デイサービス あらき

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6100

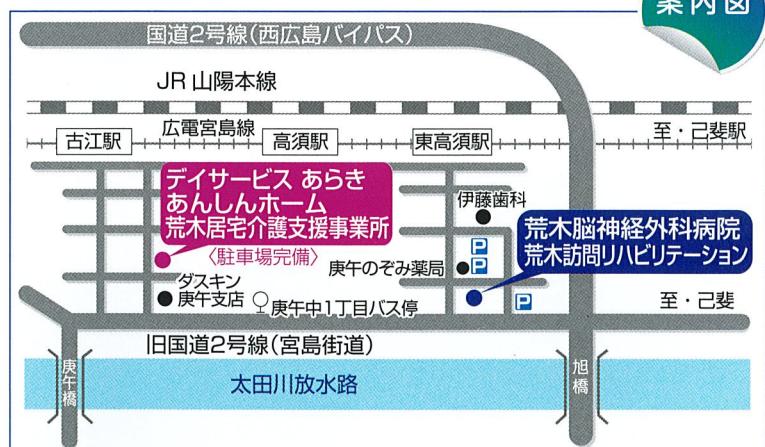
あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6300

案内図



○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前